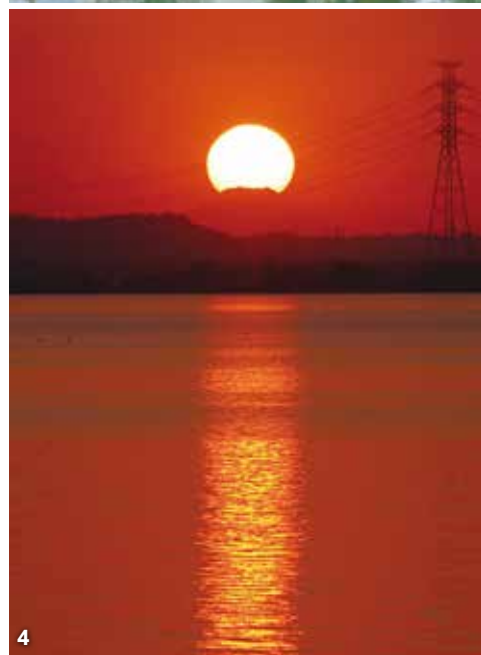




- 1.窓には組子細工をイメージしたデザインが
- 2.「眺望テラス」からの常陸利根川に夕日が沈む様子は絶景
- 3.和と歴史、人と人をつなぐ新たなにぎわいの拠点
- 4.夕日に染まる外浪逆浦とダイヤモンド富士

写真提供：細谷智氏
撮影場所：鰐川橋
撮影時期：2021年2月

見をするでしょう。
さあ、訪れてみませんか？

常陸利根川と夕日を眺めて
2階に上がると「ゆうひ食堂」があります。1階と同じく西側一面はガラス張りになっており、大きな窓から広がる眺望を楽しみながら食事ができます。店名のとおり、空や常陸利根川が夕日に染まる時間帯は格別です。また、北側の窓には組子細工をイメージしたデザインが施され、夕方には窓の外からのライトアップ

常陸利根川と夕日を眺めて

知ってもらい、何度でも足を運びたくなるようなきっかけをつくります。市民の皆さんにもぜひご覧いただきたい場所です。意外と見過ごしがちな地元の魅力を再発見し、出かけた場所や見たいもの、買いたいのものが増えるかもしれません。

息栖神社の光の道

「二の鳥居、二の鳥居、神門を一直線に結ぶ夕日の道ができるんですよ。2月上旬と11月上旬の年2回だけ見ることが出来ます」と猿田さんが教えてくれました。同じ時期に見

で模様が浮き上がります。この素敵な空間で提供されるのは、神栖市の食材を使ったオリジナルメニュー。あれもこれも、食べてみたくなりそうです。

西側の窓の向こうは眺望テラス。

テーブルやイスが用意されており、気持ち良い風に吹かれながら食事をを楽しむことができます。船溜まりや一の鳥居を高い位置から見ることで見慣れた景色も新鮮に感じられます。

ます。信太さんが、どのような思い

を込めてコーヒーをつくり上げたのか話してくれました。

「大好きな地元、大好きなコーヒーで関わることでできてうれしく思います。市から『さわやかなイメージ』という要望があり、それをコーヒーでどう表現するかさまざまな角度から考え、息栖神社という神聖な場所、清らかな心で穏やかな時間を過ごしていただけるようなイメージしてつくりました。特別感があるけれど普通すぎない、その絶妙なバランスを狙って約10種類のブレンドを試作。候補の中から最終的に選んだのは、『コーヒー豆はもともと果実だった』ということが分かるフレッシュな味わいのもの。華やかだけど品がある、そんな一杯に仕上げました」

信太さんは、神栖市にも深い思いを寄せています。「海や緑があつて、人とのつながりが強くて温かい。格好つけなくていいので、自分が自分でいられる場所です。この機会に、もっと地元と積極的に関わって、例えばおいしいカフェでラテアートのワークショップを開くなど、何か楽しいことができればいいなと夢を膨

らませています」

神栖の食から工芸品まで 自慢の特産品が大集合！

1階には他にも、かみす市場、かみすミュージアム、キッズエリア、出店（テイクアウトコーナー）などがあります。中央の石畳風の通路は「裏参道」という位置付けで、のんびり散歩をするような気分でお買い物などを楽しめます。また、受付にはコンシェルジュが常駐しており、施設のインフォメーションや観光案内などを担います。

かみす市場には、市の特産品が大集合。市内でお土産をまとめて買える場所が求められていたため、神栖市初の取り組みとして設けました。現在までに野菜、果物、水産加工品、工芸品などの出店が決まっており、引き続き出店希望者を募集しています。観光客はもちろん、市民の皆さんがお友達を案内したり、普段の買い物の利用にもおすすめです。

かみすミュージアムは、パネル展示などで市の観光情報を発信します。息栖神社を訪れた人たちに神栖市を

魅力と出会う素敵な時間を！

このエリアを大勢の人々が行き交うと、水上交通が盛んで、にぎわっていた江戸時代の街並みに思いを馳せてみたくなるかもしれません。そんなイメージがさらに膨らむような計画もあります。息栖にぎわいテラスのオープニングセレモニーでは、試験的に船で常陸利根川を周遊する予定です。いつの日か東国三社巡りに、また新しい魅力が加わるかもしれません。

最後に、猿田さんは「参拝客の皆

さんが落ち着

いてお参りで

きる環境を守

り、親しみを

感じていただ

けるようフレ

ンドリーにお

迎えます」、

信太さんは

「カフェが人

と人がつなが

る場所になれ

ばうれいす。訪れたすべての皆

さんにとって、素敵な時間が流れま

すように！」と、温かいメッセージ

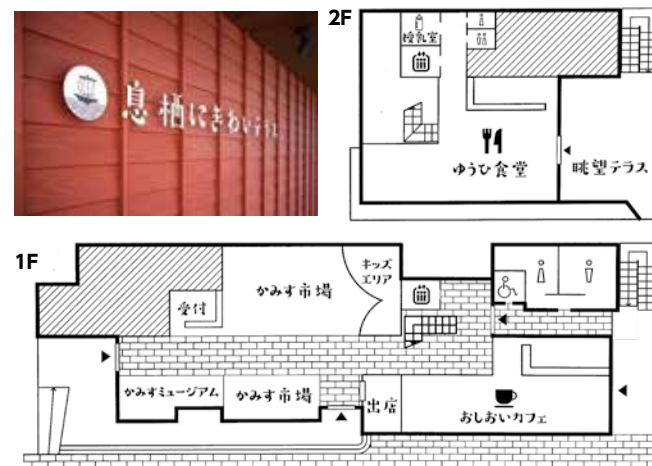
を寄せてくれました。

息栖神社とその周辺のにぎわいに

皆さんはそこで何を感じ、どんな発



江戸時代の息栖神社と参道を再現したジオラマ（歴史民俗資料館）



鳥居を眺めながらコーヒーを味わう贅沢な時間



裏参道をイメージした施設内の通路